

## 第4期亀岡市障がい者基本計画(案)の追記・修正ポイント

### ① 計画の視点

#### ●視点2「心のバリアフリー」推進の視点の解説に「人権モデル」の表記を挿入（P 6）

- ✧ 障がいのある人が社会生活で受ける制限は、社会における様々な障壁に起因しており、その障壁を取り除き、障がいのある人が一人の人間として尊重される社会を築いていくことは、人権尊重の理念にも通じるものであることから。
- ✧ 「生産性」、「効率性」のみを価値指標とすることなく、「ありのままの自分」でいることのできる社会の実現を目指す旨を明記。

#### ●視点3「地域共生社会」づくりの視点の解説に「亀岡市手話言語及び障害者コミュニケーション条例」の表記を挿入（P 7）

- ✧ 亀岡市において「合理的配慮の提供」と「かめおか・未来・チャレンジビジョンⅡ」に掲げる「意思疎通支援」の核となる上記条例について明記。

### ② 基本目標

#### ●基本目標

「ええやん かめおか 生きがいプラン」  
自分らしさ その人らしさを認め合う あたたかいまちをつくろう  
（P 8）

- ✧ 計画策定に係るワーキンググループ会議参加者からの得票が最も多かったプラン名を選定。  
※パブリックコメントでの基本目標に関する意見なし。

### ③ 横断的視点に基づく計画全体の重点施策

#### ●（2）「常時の看護や介護を必要とする重度障がいのある児童に対する包括的支援」への施策名変更（P 1 4）

- ✧ 「重症心身障害児・医療的ケア児」に対する包括的支援からの施策名変更

※「重症心身障害児」、「医療的ケア児」について、具体的なイメージができる表記への修正

● （３）「新たな感染症の拡大時や大規模災害の発生時等における障がいのある人の安心・安全を確保するための支援」への施策名変更（Ｐ１４）

☆ 「新たな感染症の拡大時や大規模災害の発生時等における障がいのある人が社会的弱者にならないための支援」からの施策変更

※「社会的弱者にならない」＝「排除されない」（否定の否定）ではなく、「非常時等においても大切にされる」という肯定的視点であるべきことから。

④ 個別施策

● 「基本方針２ 地域生活を生涯にわたり支える体制づくり」への方針名変更（Ｐ３１）

☆ 「地域生活を支える体制づくり」からの方針名変更

※ 生まれてから亡くなるまで全ての年齢軸における支援が必要且つ重要であるとの視点から。

● 「ＩＣＴ等を活用したコミュニケーション支援ツール等の普及」への内容追加（Ｐ７６）

☆ 国のデジタル化・ＩＣＴ化推進の動きと連動を図り、障がい福祉分野におけるＩＣＴの普及、コミュニケーション障壁除去のための積極的な活用を促進する旨を明記。